

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイッチ		
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○保護者評価有効回答数		6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種がチームとして連携し児童一人ひとりの特性や発達段階に合わせた支援を行っている。	各専門職の視点から意見を出し合い、情報共有を行いながら連携して支援を行っている。	細目に情報共有を行い、職員間で話し合う機会を増やして統一した支援に繋げていく。
2	各専門職の視点から5領域を意識した活動を行っている。	児童の興味や発達に合わせ、遊びや活動を工夫しながら5領域を意識しながら取り組んでいる。	職員間で活動内容や支援方法を共有し支援内容の充実を図る。
3	児童の体調変化や発達の特性に配慮し本人に合った無理のない支援を行っている。	看護師を中心に保育士、指導員、作業療法士と連携し健康状態の確認や緊急対応について話し合い情報共有をしている。	医療ケアや疾患理解についての勉強会を定期的に取り入れたり研修など参加できる機会を増やしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な特性や医療的配慮が必要な児童への支援について、さらに理解を深めていく必要がある。	一人ひとり必要な支援や配慮が異なるため、より専門的な知識と対応力が必要。	研修や勉強会を継続的に行い知識を深めて安心できる支援に繋げていく。
2	職員間での情報共有を行っているが支援についての話し合いや時間を要する。	多職種で支援しているため、いろんな視点や関り方がある。	定期的な話し合いやケース共有の機会を増やし統一した支援に繋げていく。
3	父母の会の活動支援や、保護者会などの開催機会が少ない。	保護者同士が交流する機会が少ない。	昨年はクリスマス会を開催し好評でしたが、初めてだったので保護者同士あまり話しをすることがなかった。保護者同士が交流をすることで、子どもの悩み、就園、就学についての情報共有などが行えるよう参加しやすい曜日や時間帯、内容など、保護者の意向を取り入れながら、様々な方法を試していく。